

Report

身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2024. 1. 26

月 2 回 (第二木曜日・第四金曜日)

雨天は小雨でも中止 木村は体調によって欠席あり

9:30 JR 社宅 (イーストハイム) 南側街路観察

10:00 帝京大学病院北側の御成橋から再出発

問合せ・連絡先 : 090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

今年の春は早いのか？ 遅いのか？ こんなに寒いのに、こんなにたくさんの花

衣服を突き抜けて肌身に突き刺す北風が猛烈に冷たい東京の冬ですが、ひだまりではぬくもりも感じられます。体感温度よりも実際の気温は結構あたたかいようで、1/26の石神井川緑道観察ではたくさんの花が開花していました。朝の気温は、板橋区内でも帝京大学附属病院がある東南地域は都立赤塚公園がある西北地域よりも2~3℃高いので、あと10日か2週間もすると赤塚公園方面でも春の花が咲き始めるかもしれません。



もっとも、秋の花の何回目かの戻り咲きもあるのですが・・・これも近年の温暖化の特徴といえます。

いくつ分かりますか？



おなじみの花ですが、みな



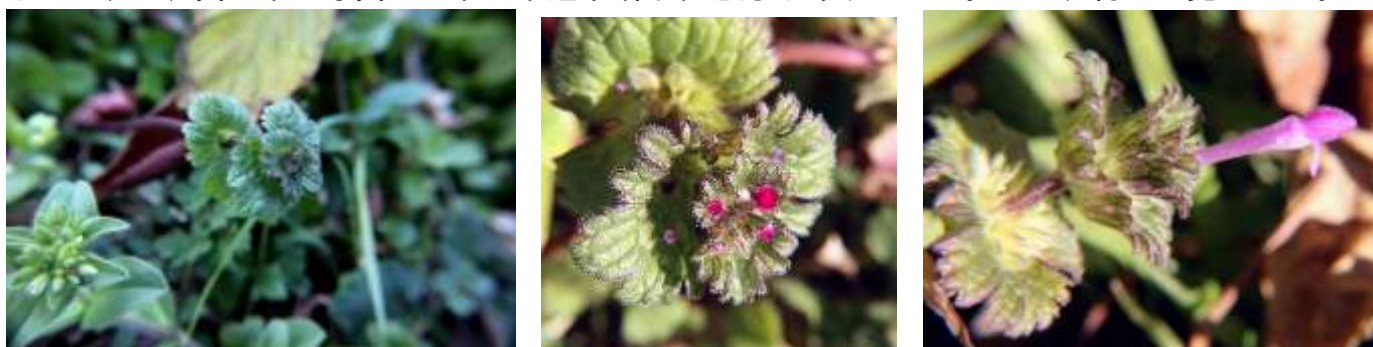
さんはいくつご存じ？→

前のページの写真、上段左から右へ、アメリカイヌホウズキ、エノコログサ（枯れ穂の隣に新しい花穂）、イヌタデ、アメリカフウロ、ノゲシ、オランダミミナグサ（蕾）、キュウリグサ、オオイヌノフグリ。

このページ、左から右へ、ノボロギク、ハキダメギク、ヒメジョオン、フラサバソウ（蕾）、ヤブタバコ、（ソシン）ロウバイ。



↓**ホトケノザの花 3つの形** 本格的な春の前、まだ寒い時期には「花」がなく、殻のような葉に包まれたその中におしべとめしべがあります。これを「閉鎖花」というのですが（左）、暖かくなってくると右のように唇状花を伸ばして、「なるほど、ホトケノザ」といえるのですが、真ん中の写真のように中途半端な咲き方もありました。これ、初めて見ました。



不思議なのは・・・

紹介した花の多くが JR 社宅前の古い歩道の下で咲いていて、改修中の新しい遊歩道はアスファルトが隙間なく敷かれ、草も生えない造りになっていること。誰かに除草剤を撒かれる前に草が生えないようにしておく、これ、「民意を汲んだ」お役所ならではの知恵！

